

コロナ禍を経験して

今、子どもの 育ちと学びを 考える



講師：野井真吾さん（日本体育大学教授）

克服するためのキーワードは、ここに！「光・暗やみ・外遊び」「ワクワク・ドキドキ」「よい加減」
子どものからだと心の危機について、コロナ禍を経ての現状と今後について話していただきます。

2024年 9月16日(月・祝) 10:00～12:30
(受付開始 9:45)

九州産業大学 1号棟 S201 教室

オンラインでの視聴・後日 YouTube での
アーカイブ視聴もできます。

YouTube 配信期間 9/20(金)～10/20(日)

参加費 1,000 円

(後日視聴も同額)



お申し込みは、右の QR コードからできます。

【会場までのご案内】

- ▶ JR 利用：鹿児島本線（普通）→九産大前駅
下車、1号館まで徒歩 約13分
- ▶ 西鉄バス利用：天神（急行）→九産大南口
降車、1号館まで徒歩 約5分
- ▶ 自家用車(都市高速利用)：香椎東 IC→国道
3号線に入って約200m→産大前信号左折→
九産大自動車進入路→キャンパス内駐車場あり
(無料) ご利用ください。

主催：ふくおか教育を考える会協議会 f-kyoiku@helen.ocn.ne.jp

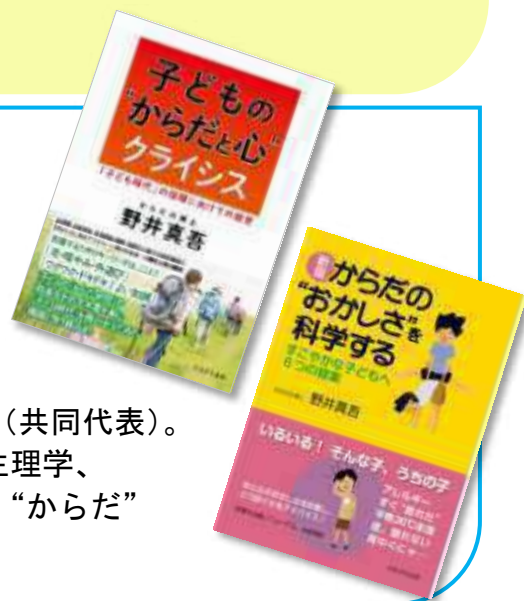
後援：福岡市・福岡市教育委員会・糸島市・糸島市教育委員会・古賀市・古賀市教育委員会
福津市・福津市教育委員会・宗像市・宗像教育市委員会

《主催者メッセージ》

新型コロナウイルス感染症が昨年5類に移行し、私たちの日常には制限の無い元の生活が戻ってきています。しかし、コロナ禍の3年間に自粛生活が求められ、集まって話し合う、行事を共有するなどの体験ができなかった子どもたちには、心身の発達成長にいろいろと影響が出てきているようです。

コロナ禍を経て子どもたちの心とからだは今どうなっているのだろうか？という思いから、今回の講演会を企画しました。

久しぶりに講師の方を福岡に招き、直接お話をお聴きします。また、オンラインやYouTubeでのアーカイブ配信も行います。多くの方にご参加いただき、一緒に子どもたちのことを考え合いたいと思います。



【野井真吾さんプロフィール】

1968年、東京都生まれ。日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了。博士（体育科学）。東京理科大学・専任講師、埼玉大学・准教授、日本体育大学・准教授を経て日本体育大学・教授。2022年4月より体育学部長、2023年4月より「子どものからだ研究所」所長。子どものからだと心・連絡会議議長。子どもの権利条約市民・NGOの会（共同代表）。日本幼少児健康教育学会副理事長（学会誌編集委員長）。教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どもの“からだ”にこだわった研究を続けている。

ふくおか教育を考える会は、

1973年に福岡市南区で「高校入試を考える会」として発足。福岡市内・近郊にも会ができる中、1981年に「ふくおか教育を考える会協議会」に名称を変更して様々な活動を続けてきました。現在は、各地域で【不登校親の会】【支援を必要としている子どもの教育を考える会】をしています。子どものことや子育てについて、当事者の親が語りあい、話を聞く会を開いています。お気軽にお問合せ下さい。

お申し込みについて

- A 参加方法 （ ①現地参加 ②オンライン参加 ③アーカイブ視聴 ）
- B お申込みのきっかけ （ ・チラシを見て ・会員の紹介 ・知人の紹介 ・その他 ）
- C お名前・連絡先 （ 携帯電話番号 ・PDF 受信可能なメールアドレス ）

A～Cを《お近くの連絡先》、または右記 QRコード、検索からお申込みください。



《お近くの連絡先》

東部:080-5009-0960 西部:090-8228-3074
南部:090-5720-8690 中部:090-3604-3087
宗粕:090-5283-9252 協議会:080-3953-2382

ふくおか教育を考える会

検索

*お申し込み確認後、振込先を連絡いたします。1週間以内に連絡がない時は再度ご連絡をください。